

4 月当初 在宅勤務・在宅学習開始時の取り組み

2020年4月16日

クレメンティ校

在宅勤務・在宅学習が始まり、職員・児童は共にこれまでの Face to Face、モノを介在したコミュニケーション・授業が困難となった。それでも、在宅勤務・在宅学習において高いパフォーマンスを上げることができるよう、クレメンティ校では、現在、次の2つの視点から様々な手立てを講じている。

視点1 「在宅勤務」において職員のパフォーマンスを引き出すICTの活用法

視点2 「在宅学習」において、学習効果を高める学級経営・学習指導

この視点に基づく手立てを、ICT担当の森角がシステム面から、各学年主任が学級経営・指導面からバックアップしている。

1 Google Classroom への情報の一元化

4月当初、Netcommons を活用して、職員間の情報共有を行っていた。そこに、今回の突然のサーキットブレイカーの発動により、十分な職員のICT研修を行う間もなく在宅勤務がスタートすることとなった。そこで、在宅学習の核となる Classroom の有効な利用法を職員に効率よく学んでもらうため、また、G Suite コンテンツの Google drive、Meet、Document、Spreadsheet、Slide 等の共有・共同作業の機能を十分に生かすため、職員の情報集中先を Classroom に一元化している。



【必要な情報や提出物は全て職員用 Classroom にて行う】

2 出欠報告シート

児童の出欠確認は Classroom 内で行っている。出欠の状況を効率よく集計するた

2						
3						
4						
5	入力例	4月13日(月)	1-6	クレ 太郎	欠席	発熱
6	入力例	4月13日(月)	4-7	クレ 花子	遅刻	腹痛
7		4月13日(月)	4-2		出席	出欠確認質問未提出(meetでの参加は確認済)→回答済
8		4月13日(月)	4-2		出席	出欠確認質問未提出(meetでの参加は確認済)→回答済
9		4月14日(火)	4-2		未回答	meetで氏名・顔確認済
10		4月14日(火)	4-2		未回答	meetで氏名・顔確認済
11		4月14日(火)	4-2		出席	meetで氏名確認済
12		4月15日	4-2			
13		4月16日	4-2		欠席	通院の為(母から事前にメール有)
14						
15						
16						
17						

同当午一い(一)は同(一)中味より一い(一)より、外当午明の中味は同(一)より、外当午中

七五 仁却の職員却合の中で、却生書に記さるる便に、中味を何れをも紹介する

[illegible][illegible]

4 時間割共有シート

全学年の時間割を Spreadsheet に直接記入させることで、時間割の全体把握が行いやすくしている。また、所属児童が複数の学年にまたがる特別支援学級の職員が時間割を作成する際にも各学年の時間割の参照が簡単にできるようにしている。

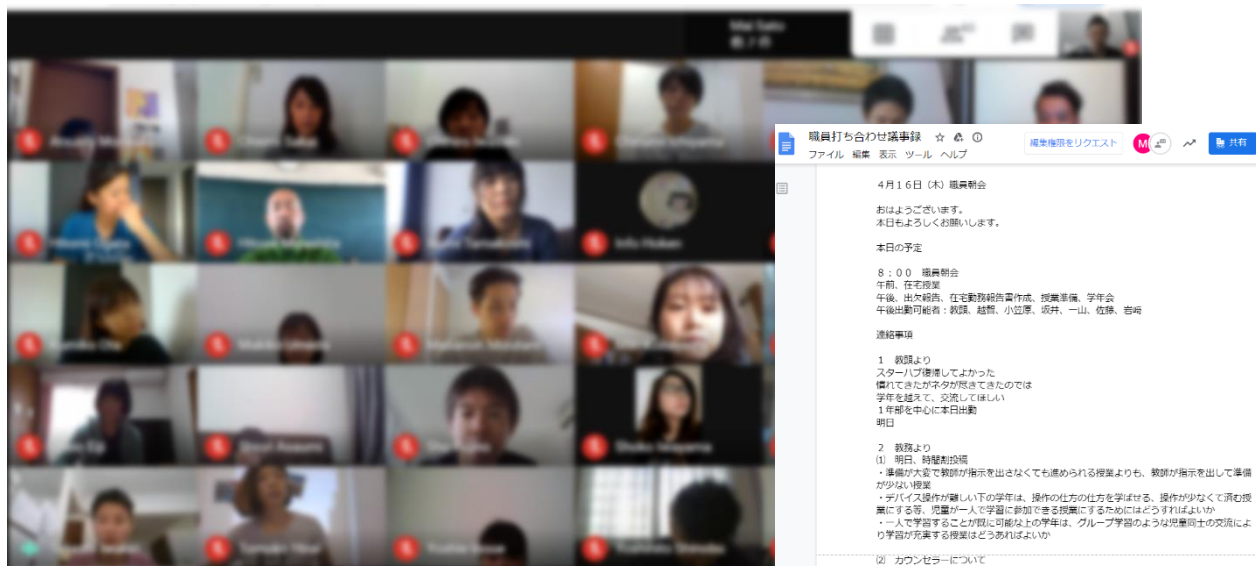
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	1年1組 時間割							以下に記載した内容は、児童保護者に向け らいしゅうとりくむこと ●せいかつひょうのかくにん ●ただしいての あらいかた https://youtu.be/IMmUL7Yb1ck 1から20まで かぞえながら てあら ●うんどう (おうちで できる すれっ たけのこ ぐんぐん すれっ https://youtu.be/sjgxVLzMe8 ●おてつだい (そうきんを じょうずに そうきんの しぼりかた https://youtu.be/7_EHU7zFpwc ●ごくご① よいしせいと えんぴつの https://youtu.be/LxYYG64ZeD0 せんせいの しせいと えんぴつの も ●ごくご② せんむすび https://youtu.be/VgPJLz0K2pM はみださないように いろいろな せん ●おえかき じぶんのなまえと すきなものをえ	
2	第3週	13日 Monday	14日 Tuesday	15日 Wednesday	16日 Thursday	17日 Friday			
	行事								
	朝の活動								
	1校時	学級活動(がっかつ)	学級活動(がっかつ)	学級活動(がっかつ)	学級活動(がっかつ)	学級活動(がっかつ)			
	8:30~9:15	校長先生の話	入門期学習者の洗い方	入門期学習者とうきんのしほりかた	入門期学習者とうきんのしほりかた	入門期学習者とうきんのしほりかた			
	2校時	学級活動(がっかつ)	国語(こくご)	国語(こくご)	音楽(おんがく)	国語(こくご)			
	9:25~10:10	入門期学習者 がっこうのほろりき	正しい読み、えんぴつの持ち方	なまえをかいてみよう	イマージョン	きょうかしよをひろいてみよう			
	3校時	国語(こくご)	生活(せいかつ)	図画工作(ずこう)	国語(こくご)	英語科I(えいごI)			
	10:20~11:05	手の運び方、見通しのたて方	1年生の生活、えんぴつの持ち方	すきなものをえよう	せんをなぞってみよう				
	4校時	学級活動(がっかつ)	生活(せいかつ)	生活(せいかつ)	生活(せいかつ)	体育(たいいく)			
	11:15~12:00	入門期学習者 たいくつのことば	1年生の生活、えんぴつの持ち方	おひるにのんびりして過ごす	できたことについてをえよう	体を動かそう・ストレッチ			
+ 1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生 スター サンシャイン									

【全学年の時間割をブック1つで共有】

5 毎朝の職員朝会

職員全員と顔を合わせることは在宅勤務において非常に重要な要素である。毎朝、8:00 より Meet による職員朝会を実施することにした。授業だけでなく職員朝会でも Gridview の機能を使い、情報伝達だけでなく、互いの顔を見ることで健康状態の把握にも努めている。

職員朝会や主任会などの会議の議事録は Document で作成し、リアルタイムで書き込み、共有できるようにしている。



【左：毎朝の Meet による職員朝会】

【右：リアルタイム議事録】

6 朝の会からの在宅学習のスタート

年度当初から在宅学習に突入したため、学級担任と児童はもちろんのこと、学級の児童同士も互いをほとんど知らない状態である。そこで、毎朝の在宅学習のスタートを Meet による朝の会から始めることにしている。児童の健康観察や諸注意だけでなく、担任がちょっとしたゲームをしたり、絵本を読み聞かせしたりするなどして、担任と児童の交流、児童同士の交流を深め、よりよい学級経営に努めている。



【児童健康状態や本日の学習内容を確認し、担任や級友とのふれあう朝の会】

7 eラーニング教材「すらら」や「スタディサプリ」の活用

アニメーションによる学習内容の説明や間違えた問題にもきめ細やかなサポートが提供されるeラーニング教材「すらら」や、授業動画配信サービス「スタディサプリ」を活用した在宅授業に取り組んでいる。

これらeラーニング教材のレッスン内容を指定して児童に取り組ませるだけでなく、課題の出し方を工夫したり、チャットを活用した質疑応答などを組み合わせたりした在宅学習に取り組んでいる。

週3回の学年主任会では、これらeラーニング教材の活用法について、各学年の実践を共有し、より効果的な指導法の研究を行っている。

また、これらのeラーニング教材を活用個別最適化学習や反転学習へどのように生かすことができるかについても模索中である。

速さの求め方 2 / 11

マラソン大会で、しんや君とよしお君は2500mをそれぞれ5分、4分で走りました。みほさんは1500mを3分で走りました。この中で一番速く走ったのはだれでしょうか？

	時間	距離
しんや	5分	2500m
よしお	4分	2500m
みほ	3分	1500m

Q. しんや君とよしお君、速いのはどっち？
しんや君 よしお君

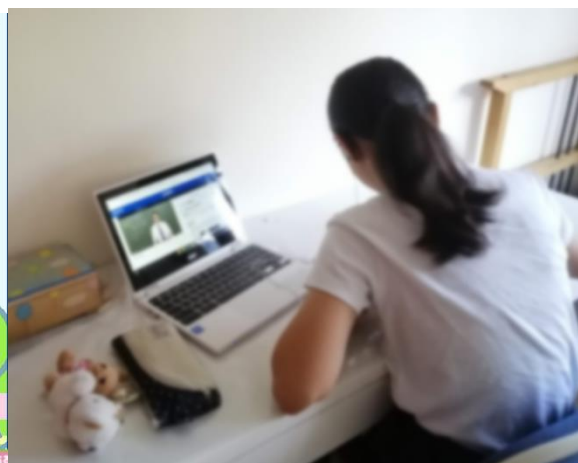
よしお君

質問 よしお君とみほさん、速いのはどっち？
⇒ 時間も距離もちがうので、わからない。。

1分あたりの距離を求める！

よしお君: $2500 \div 4 = 625\text{m}$ みほさん: $1500 \div 3 = 500\text{m}$

アニメーションで学習の「すらら」



【アニメーションで学習の「すらら」】

【授業動画配信の「スタディサプリ」】

7 各学年の実践例【4月16日（木）各学年の在宅勤務報告より】

1年生

子どもたちも親も MEET に慣れてきたようで、時間内のログインや出席提出が確実になってきた。また、子どもたちが積極的にハンドサインをするようになり、つながりを感じられるようになってきた。

10:20 からの MEET では、ぞうきん絞りと手洗いの仕方を確認して、実際にやってきてもらった。しばってきた雑巾や洗ってきた手を嬉しそうに見せていて、みんなかわいかった。ただ、話を聞くときの姿勢の保持や集中が難しいようである。オンラインであっても細やかに声を掛けてできるまで待ったり、話を聞いていれば分かる問題を話の後にしたりして少しでも規律が身に付くように意識付けしていきたいと思った。

2年生

11時50分からのミートで学習の内容振り返りでは、算数教科書を使って行ってみた。お手本を示し、「同じような問題を作ってみましょう。」挙手した子に、マイクをオンにして答えを発表させた。友達の声が聞こえることに喜んでいて、マイクの使い方理解し始めている。Meet ボタンを使って入れない子がいたので、説明また明日必要である。午前中の学習のリズムが分かり、4時間ががんばっている様子が伺えた。

3年生

朝の meet では、12人の子どもの声の順番につなぐことができた。今日の出席確認は、ボタンの押し忘れがなく、全員の出席を確認できた。

途中の meet では、クラスルームの移動の仕方を説明した。固定画面表示の機能を使って説明しながら、理解できた子から退出して、英語科の授業を受けるように指示

をした。1回で理解できた子が24人。残った7人には、全員がマイクをオンにさせて、分からないところで自由に発言するようにした。7人程度であればつぶやきが拾え、その都度「返事してね。」「ここもう1回やろうか?」と丁寧に説明することができた。担任の固定画面が閲覧できない子が1人残って3回目の説明をした。「画面は見えないけど説明通りやってみます」と自分で試みることにし、クラスルームにも無事に入れた様子。

クラスルームの移動、タブの変更、meetの接続を切るというような、細かい操作を一つひとつに不安を感じている子がいることが分かった。この機会に、スモールステップで確実に教えていき、ICT操作に慣れさせることが、長期化が予想される在宅学習を自分で取り組むベースになると思った。

4年生

朝のmeetでは、マイクをオンにして一人ずつ呼名して返事を聞くことができた。音声がよく聞こえない場合もハンドサインで教えてくれたので漏れなく確認できた。毎朝のなぞなぞタイムは、正解を伝えるとパッと笑顔になったり、恐らく「やった!」と言っているであろう姿が見られたりして微笑ましかった。8時半に間に合うように少し早めにmeetに入って始まるまで待っている子が多く、子どもたちなりに生活や学習のリズムを心がけていることが感じられた。午後の時間も有効活用するよう伝えたので、その後の様子なども追々子どもたちに聞いていきたい。

昨日と比べ、算数の最初にmeetに入ってくることがスムーズだった。こちらの指示を聞いてノートに書いたり復習ページを読んだりする姿を見て、学習状況をその場で確認できるのは担任として安心感があつた。課題になるとどうしても読んで答える活動が多くなるため、読むことが苦手な児童にとっては、時間内に課題を終わらせるのはなかなか難しいのかもしれないと感じた。課題を載せて個々で取り組ませるものと、meetにつながって指示を聞いて取り組むもののバランスを考えていきたい。

5年生

体育の授業では、クラス全員がMeetに入り、音楽を流して体操をすることができた。グリッド画面を通して、子どもたちの動きを把握することもできた。今日はカメラの前で動いてほしかったため、子どもたちには上半身だけの動きでもよいことを伝えた。

算数と社会の授業では、授業の始めと終わりにMeetで発言の機会を与え、クラスで問題の解答を伝え合うことができた。しかし、算数と社会の授業ではクラスの中で数人がMeetに参加しそびれており、誰が参加していなかったのか、さらにその原因は何なのかを把握することができなかった。

授業の始めと終わりにMeetを取り入れる場合、クラス全員を必ず参加させる必要があるのかを検討したり、全員を参加させるための手立てを考えたりする必要があると思った。次の家庭科の授業では、45分間Meetへの接続を維持させることで、全

員参加を目指したい。

6年生

今日は **meet** で子どもたちとつながる時間を昨日より増やした。朝の会、授業間、帰りの会の計 5 回。朝の会と帰りの会では教師からの連絡や、学習に関する質問を受け付ける時間とした。

授業間は子供たちが自由に会話をできるように投げかけた。自由に会話ができることで、みんなを笑わせようとする子が出てきて、クラスが明るい雰囲気となった。しかし、家庭の Wi-Fi 環境が悪いところは、フリーズしたり落ちたりしてしまう。一斉授業で取り入れるのは難しそうである。

理科でスタディサプリの問題を解かせ、**classroom** で課題を完了したことを報告させた。こうすることで、理解の浅い子をスタディサプリの管理ページから確認し、個別にコメントを送信し、学習のサポートをすることができるようになる。

算数では、スタディサプリの動画で学習をしたあと、教科書の練習問題に取り組んだ。ノートに答えを書いた後、ドキュメントに記入、提出させた。教師が答え合わせをし、理解の浅い子には個別にコメントを返すことができる。(通常の丸付けよりかなり時間はかかるが、コメントを通して子どもたちとつながることができる。)

児童もスタディサプリアと教師からの課題をミックスした授業に慣れてきており、こちらもフィードバックができるようになってきている。

六年部は今後、ノートを写真に撮らせて提出させたり、**meet** でのグループでの話し合い活動を入れたりした授業を計画している。インターネットトラブルがあっても対応ができるように、**Meet** は朝の会、休憩時間、帰りの会、そして授業の中で効果的に使える場面にとどめていく。

今後も児童が効果的に学べるよう、今できているスタディサプリアを利用した学習を継続して行いながら、教師と児童の繋がり、児童同士の繋がりがよりできるようにアップデートをしていきたい。